

2月 給食たより



栃木市マスコット
キャラクター
「とち介」
栃木市立西方小学校
給食共同調理場

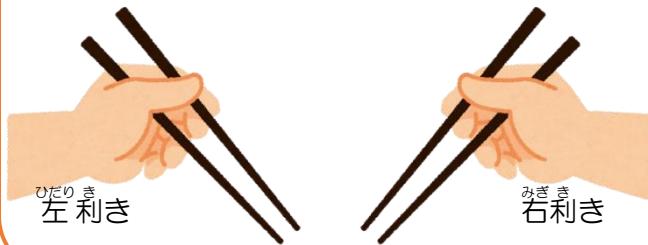
2月は暦の上では「春」ですが、まだまだ寒く体調を崩しやすい時期です。2月は節分や初午があり、給食にも、「炒り豆」や「しもつかれ」など、行事に関連した献立を提供します。節分には「鬼は外、福は内」と大きな声を出して豆まきをして、病気や災いを追い払い、福を呼び込む風習があります。また、今月からは、各校の最高学年の児童生徒が考えた「リクエスト献立」も提供されます。栄養バランスや季節感などに配慮しながら、一生懸命考えてくれました。ぜひ楽しみにしていてください！



～食事のマナー再確認～

新年が始まり1か月が過ぎました。改めて食事のマナーを再確認してみましょう！はしの持ち方や姿勢だけでなく、食事のあいさつや会話の内容、食事中の態度を考えることなども立派なマナーです。また、マナーは国や地域によっても様々です。状況に合わせたマナーを心がけましょう。

はしの正しい持ち方



お椀の正しい持ち方



食事中の態度



せつぶん 節分とは？



節分は、2月3日に行われる、豆をまいて邪氣(悪いもの)をはらう行事です。

もともとは中国から伝わった「鬼追い」という風習に、日本の考え方が合わさったものだと言われています。

豆をまく理由は、栄養豊富で靈力が宿ると考えられていた豆をまくことで、病や災いをはらうことができ、豆を食べることで、その力を取り入れることができると考えられていたからだそうです。

はつうま 初午とは？



初午とは、2月最初の午の日のことで、稻荷神社本社の「伏見稻荷大社」に神様が降りた日と言われています。稻荷神社では、神の使いであるきつねの好物(おいなりさん)をお供えして、豊作をお願いします。

栃木県では「しもつかれ」が有名です。昔の伝統をこれからも受け継いでいけるとよいですね。今年の初午は、2月1日です。給食では、4日にしもつかれを提供します。苦手な人もこの日はチャレンジしてみましょう。